

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考		
1	市長公室	広報課	大学と連携した広報活動	効果的に情報発信を行うため、大学と連携した情報発信や手法の検討を実施するもの	H30	・大学と連携しPR動画を制作し、その様子をテレビ広報番組で紹介 ・大学教授による職員を対象とした動画研修の開催 ・ホームページやSNSに関する学生との意見交換会の実施	専門的知見を得ることで効果的な広報につなげることができた。	https://www.city.saitama.jp/006/014/013/001/009/010/p084260.html	動画研修や意見交換会などを継続して開催するなど、情報発信力の向上に向けて連携を図っていく。																	
2	市長公室	広聴課	タウンミーティング参加者の募集	各区に市長が訪問し、公募による参加者とテーマに沿って意見交換を行うタウンミーティングについて、参加者を募集する。	H24	参加者募集のための周知を依頼。	計8名の学生に参加いただき、様々な意見を聴取することができた。	https://www.city.saitama.jp/006/003/002/002/index.html	引き続き周知の協力を依頼する予定。																	
3	市長公室	シティセールス推進課	市誕生20周年事業	市誕生20周年の祝祭を市民参加・協働で実施するもの	R3	大学と連携しPR動画を制作し、その様子をテレビ広報番組で紹介するとともに、市公式Youtubeをはじめ市内公共施設等で放映する	市の魅力を若年層の視点から工夫して訴求することができた	https://www.city.saitama.jp/006/014/013/001/009/010/p084260.html	本市への定住意向を形成するには若年層への市の魅力発信が重要となることから、引き続き学生の意見や大学の知見を活用して連携を継続していく																	
4	都市戦略本部	都市経営戦略部	総合振興計画オンラインシンポジウム開催業務	学識経験者等の議論から21世紀半ばを見据えて本市が目指す将来像等を明らかにするシンポジウムを開催する。	R3	総合振興計画オンラインシンポジウム開催周知のためのチラシを配架。	総合振興計画オンラインシンポジウムの開催について周知を図ることができた。	-	令和3年度のみのものであるため、今後の予定なし。																	
5	都市戦略本部	都市経営戦略部	総合振興計画広報用パンフレット等作成業務	令和3年度からスタートする新たな総合振興計画を周知、広報するため、パンフレット及びポスターを作成する。	R3	総合振興計画広報用パンフレット及びポスターを配架。	新たな総合振興計画について周知を図ることができた。	-	令和3年度のみのものであるため、今後の予定なし。																	

市と大学との連携事業(令和3年度)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
6	都市戦略本部	都市経営戦略部	さいたま市民の日制定に係る市民への周知	令和3年度に制定したさいたま市民の日を広く周知することを目的に、市内公共施設及び市立学校等の教育施設において、ポスターの掲示を実施する。	R3	さいたま市民の日周知ポスターを配架。	さいたま市民の日について周知を図ることができた。	-	継続して実施予定。	○					○			○							
7	都市戦略本部	行財政改革推進部	市と大学による座談会	市と大学及び大学間の交流を促進し、相互の連携強化と発展に資することを目的として、大学コンソーシアムさいたま加盟大学の代表者と市長との座談会を実施	H21	「ICTを活用した教育」と「食品ロスに關係した提案」を議題とし、それぞれ意見交換を行った。	ICTに関しては、学生との授業に関して積極的にオンラインを導入している大学から、運営して得た知見等もあり、今後市としても進めていく際の参考となった。食品ロスに関しては、SDGsとも関連し、さいたま市も総合振興計画上也重要視している視点であり、今後も連携し様々な課題解決に向けて取り組んでいきたい	https://www.city.saitama.jp/006/007/002/012/002/002/p012202.html	継続して実施予定。	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○			
8	都市戦略本部	行財政改革推進部	第10回学生政策提案フォーラムinさいたまの開催	さいたま市内及び近隣に所在する12大学で構成する「大学コンソーシアムさいたま」に加盟する大学の学生が、本市の発展に寄与する政策や事業について自ら企画・提案するフォーラムを開催	H23	令和3年11月7日に開催 5大学11グループから申し込みがあり、それぞれ発表を行った。	発表テーマの研究を通じ、地域が抱える課題を解決する能力の向上を図るとともに、地域社会への愛着と関心を深めることができた。	https://www.city.saitama.jp/006/007/002/012/002/003/p084940.html	継続して実施予定。	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○				
9	都市戦略本部	行財政改革推進部	大学による地域の課題解決・活性化支援事業	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の知や活力による地域の活性化や課題解決につながる事業を支援することにより、大学の実践的な教育・研究機会の確保、人材育成等を図るとともに、地域の活性化等を図ることを目的とする。	H27	3大学・3件の申請があり、3件を交付決定した。	大学の実践的な教育・研究機会の確保、人材育成等を図るとともに、地域の活性化等を図ることができた。	-	引き続き、大学の知や活力による地域の活性化や課題解決につながる事業を支援していく。	○				○				○							

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大	埼玉県立大	浦和大	慶應義塾大	芝浦工業大	聖学院大	日本大	日本赤十字看護大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院	五短大	その他	大学名	備考		
10	都市戦略本部	行財政改革推進部	公共政策学科フィールドワーク	公共政策学科のカリキュラムの一環として実施されるフィールドワークに協力することにより、本市について研究してもらい、その結果を市の課題解決につなげる。	R2	令和3年度の公共政策学科フィールドワークに協力するとともに学生向けに講義を行った。（行財政改革推進部・男女共同参画推進センターからそれぞれ1コマ実施）	フィールドワークを通じて市の課題解決への気づきを得られたのと、新たな大学との関係を構築でき、今後の連携手法のヒントを得られた。	-	未定																○	大正大学	
11	都市戦略本部	行財政改革推進部	大学コンソーシアムさいたま加盟大学が実施する公開講座の市民への周知	大学コンソーシアムさいたま加盟大学が実施する公開講座を市報や市ホームページで周知する。	H24	大学コンソーシアムさいたま加盟大学が実施する公開講座を市報やホームページに掲載した。	大学の専門的知見を地域社会に提供することにより、知の拠点機能を推進することができた。	https://www.city.saitama.jp/006/007/002/012/002/004/index.html	継続して実施する。	○	○			○										○			
12	都市戦略本部	未来都市推進部	スマートシティさいたまモデル推進事業（地域コミュニティ醸成）	美園地区をさいたま市の理想都市の縮図として、コミュニティ形成を促進する取組みを推進する。	R3	大学院授業（システム工学特別演習、クロスイノベーションプロジェクト）において、美園地区の子育て世代を中心としたコミュニティ形成等に関する提案を受けた。	演習に参加した学生からの提案が、コミュニティ形成に関する取組への参考となった。また、学生が企画に参加した子育て交流イベントが開催されたことにより、新規の参加者が生まれ、コミュニティの活性化につながった。	※子育て交流イベントの開催前まで市HPに記事を掲載した	未定					○													
13	総務局	防災課	避難所運営訓練	災害対策基本法に基づく本市の指定避難所に指定されている施設において、災害が発生した場合の避難所の円滑な開設及び運営を図ることなどを目的とした訓練を実施する。	R2	各区役所総務課の主催のもと、各施設において避難所運営訓練を実施した。 ＜実施状況＞ 埼玉大学：9/25 埼玉大学教育学部附属小学校：11/27 埼玉大学教育学部附属中学校：11/13	自治会、施設管理者、市職員などで構成される避難所運営委員会を中心として、災害時における避難所の開設・運営を想定した訓練や、施設利用協議などの活動を行うことで、地域コミュニティの連携強化や防災意識の醸成など、地域防災力の充実強化を図ることができた。	-	いかなる状況下でも円滑に避難所の開設運営を行うためには、防災訓練を継続的に実施することが重要であるため、各避難所で明らかとなった課題を踏まえ、訓練内容の見直しや拡充などの改善を図りながら、今後も継続的に訓練を実施する予定。	○																	

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大	埼玉県立大	浦和大	慶應義塾大	芝浦工業大	聖学院大	日本大	日本赤十字看護大	人間総合科学大	放送大	目白大	国際学院埼玉短期大	その他	大学名	備考
14	市民局・市民生活部	人権政策・男女共同参画課	デートDV防止出前講座	若年層へのデートDVに関する正しい理解を深め、DVの加害者・被害者にならないための意識啓発を行い、どうしたら暴力のない社会をつくることのできるのか考える機会とする講座を実施する。	H23	動画のオンデマンド配信によるオンライン出前講座を実施した。（参加者数1,427名）	若年層への啓発は重要とされている。大学との連携により、学生のデートDV防止への理解が深まった。	-	令和4年度も、オンラインにより実施予定。	○														
15	市民局・市民生活部	人権政策・男女共同参画課	なんでもジェンダー平等出前講座	多様な人が共に暮らす社会で、その一員として自分も他者も尊重して生きるための基礎知識と考え方を学ぶため、「ジェンダー平等」に関する様々なテーマについて、取り上げる講座を実施する。	R3	埼玉県立大学保健医療福祉学部学生の実習として、「なんでもジェンダー平等」を実施した。（ZOOMを用いたオンライン講座）	若年層への啓発は重要とされている。大学との連携により、男女共同参画推進に関する学生の理解が深まった。	-	令和4年度も、オンラインにより実施予定。		○													
16	スポーツ文化局	スポーツ政策室	スポーツシュール事業	持続可能なスポーツシュールの実現に向け、民間力を最大限に活用したネットワーク型のスポーツシュール事業を展開。	R1	「さいたま市版SOIP」への主体的な関与について検討いただくため、ヒアリング調査を実施した。	今後具体的にどういったところから連携が可能か意見交換を行った。また大学内における検討組織の立ち上げについて検討いただいた。	-	大学内検討組織と連携しながら、大学施設や学生、研究結果等を活用した実証や研究、マーケティング等の実施に向け、調整していく。	○														
17	スポーツ文化局	オリンピック・パラリンピック部	東京2020大会ボランティア推進事業	市内の既存の関係団体で構成するボランティア連絡協議会を通じて、本市の所掌するボランティアの準備を進めるとともに、市民の大会時のボランティア参画に対する関心や意欲の向上を図る。	H29	大学コンソーシアムさいたまの幹事大学に委員として参画していただいた。	大会時のボランティア活動の内容やレガシー化について、大学コンソーシアムとしての視点で確認をいただいた。 ・大学コンソーシアム内での東京2020大会時のボランティア情報の共有につながった。	-	-													○		

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考
18	保健福祉局	健康増進課	さいたま健康ネットワーク	従業員の健康づくりについて組織的・戦略的に取り組む「健康経営」について、取り組む意思のある企業・団体を集め、セミナー、取組に関する情報共有、情報交換等を通じて健康経営を推進するもの。	H29	校内における「スマートウェルネスさいたまNEWS」の周知啓発。	本市の健康づくり事業について、行政の声の届きにくい学生たちにも周知啓発ができた。	https://www.city.saitama.jp/006/007/002/026/002/20180322.html	引き続きセミナーでの連携や周知啓発を行うとともに、その他産学連携を目指していく予定。		○							○						
19	保健福祉局	健康増進課	九都県市受動喫煙防止対策共同キャンペーン	九都県市で、受動喫煙による健康への悪影響に関する正しい知識や、公共施設における受動喫煙防止の適切な取組を推進するため、共同でキャンペーンを実施している。	H30	大学生に一定数喫煙者がいることから、学内での啓発ポスター掲示を依頼した。	大学生等に受動喫煙への意識啓発を図ることができた。	例年9月～11月のキャンペーン期間のみHPに記事を掲載	継続して実施する予定。	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
20	保健福祉局	障害者更生相談センター	高次脳機能障害当事者グループ「はじめの一步」	成人期の高次脳機能障害の当事者が、自分の強みと弱みを理解し、社会参加に向けた第一歩となることを目的に、当事者グループを月に2回の頻度で全8回を1クールとして、2クール実施している。	H28	作業療法学科の准教授に参加いただき、グループ運営や個別ケースへの対応について助言をいただいた。また、同大学の学生にボランティアとして1回参加いただき、高次脳機能障害への理解を深めてもらった。	高次脳機能障害のケースへの個別対応やグループ運営について、有益な助言が得られ、進捗方法や事業内容の改善につながった。	-	継続して実施する予定。		○													
21	保健福祉局	新型コロナウイルスワクチン対策室	新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の提供	新型コロナウイルスワクチン接種のため、大学施設を集団接種会場として利用するもの。	R3	大学の施設を集団接種会場として利用した。	大学の施設を集団接種会場として活用することにより、ワクチン接種を円滑に進めることができた。	-	未定					○										
22	環境局	環境創造政策課	産官学連携によるSDGs教室	リコージャパン株式会社埼玉支社及び埼玉大学と連携して、小学生を対象にSDGs環境教育を実施する。	R3	11月25日に指扇北小学校において、SDGs授業を実施した。	大学生から、教材の内容や実施方法等について、建設的な意見があり、授業がより小学生に分かりやすい内容となった。	-	継続して実施する予定	○														

市と大学との連携事業(令和3年度)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考
23	環境局	環境対策課	さいたま市内の河川におけるマイクロプラスチック調査研究	市内河川におけるマイクロプラスチックの実態を把握するための調査研究を、埼玉大学及び市内分析事業者4社と共同で実施する。	R1	市内の3河川3地点で調査を実施。	新しい分野の調査であるが、すでに調査の実績がある埼玉大学の研究室を中心に調査、分析し、さらに、計量分析業務を専門に行っている分析事業者の意見をもらうことで、様々な知見を得ることができる。	https://www.city.saitama.jp/001/009/014/p068315.html	令和3年9月30日をもって、共同研究を終了した。	○														
24	環境局	資源循環政策課	給水スポットの実証実験	学生にマイボトルを使って市内の給水スポットを利用することで、給水スポットの利便性や普及への課題などを抽出し、解決策を検討する。	R3	市内の大学2校で実証実験を実施。	実証実験を通じ、学生の環境意識に変化が見られたほか、給水スポット設置に関する効果や課題を確認できた。	https://www.city.saitama.jp/001/006/010/004/p084172.html	給水スポットの実証実験に限らず、両校とはごみの減量施策において引き続き連携を図ってまいります。															
25	環境局	資源循環政策課	チームEat All	事業系食品ロスの削減に取り組む事業者等を「チームEat All」参加事業者として登録し、その旨を宣言していただくことにより、市と参加事業者が共同して食品ロスの削減を一層推進する。	R1	食品ロス削減啓発動画を作成し、大学の食品ロス削減への取り組みを発信した。	大学他、チームEat All参加事業者の取り組みを広く紹介し、令和3年12月時点で約7,500回視聴されている。	https://www.city.saitama.jp/001/006/012/001/p060846.html	チームとしての連携を継続的に実施していく。															
26	経済局	労働政策課	学内合同企業説明会	埼玉大学において、在学生向けに、市内企業(さいたま市リーディングエッジ企業)による合同企業説明会を、協力開催により実施。	H24	令和4年3月1日から3月5日にオンラインで実施予定。市は広報物作成(リーディングエッジ企業の認証マークの使用)について協力。	求人意向のある市内企業と学生とのマッチングを図り、市内企業の技術力確保と、新規学卒者の市内就労を促進する。	-	今後も年度内に1回程度、継続実施予定。	○														
27	経済局	産業展開推進課	さいたま市研究開発人材高度化タスクフォース事業	企業と大学等研究機関、さいたま市産業創造財団の3者共同研究実施により、企業・大学間の人材高度化を実現する。	H21	・ソーケンメディカル×埼玉大学 ・氷川工作所×日本体育大学	企業の社内人材育成、企業研究機関間のパイプ構築、学生のビジネスリテラシー向上、キャリア開発に貢献する。	https://www.city.saitama.jp/005/002/010/011/p013370.html	引き続き産学連携推進事業として実施する予定。	○													○	日本体育大学

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
28	経済局	産業展開推進課	高度ものづくり人材育成支援事業	製品化支援のためのプロトタイプング（試作開発）を実現する人材育成プログラムを大学の教員等によりカリキュラムを構築し、大学の施設を活用して市内企業の技術者に実施する。	H26	セミナー形式及び実践的実習形式を組み合わせたカリキュラムによる試作開発に資するプログラムを実施した。	大学の専門の人材と装置・機器を活用することで、高度ものづくり人材を育成し、さいたま市内等企業の国際競争力を強化する。	-	引き続き産学連携推進事業として実施する予定。	○				○											
29	経済局	観光国際課	東日本ウェブプロモーションにおける、東日本連携都市プロモーション動画制作	目白大学の学生による、東日本連携都市の観光資源をPRするプロモーション動画の企画及び制作	R3	令和4年3月 完成予定 ※完成次第、東日本情報発信サイト「つなぐ旅～東日本～」で掲載する等、配信を行う予定	東日本連携事業の取組みについて若い世代に理解をしていただいた上で、学生の柔軟な発想により、地域の魅力発信の手法について互いに学ぶことができた	https://www.experienceeastjapan.jp/	引き続き連携を深めながら、東日本地域の情報発信にご協力をいただきたいと考えている											○					
30	経済局	農業政策課	農学商連携事業	学生による農作業体験（紅赤の栽培）	H22	学生による農作業体験。	本市発祥のさつまいも（紅赤）のPRおよび農業の価値と魅力への理解が進んだ。	-	苗の提供や紅赤のPRの連携を通じ、学生による農作業体験や紅赤を使用したメニューの製造販売を支援していく予定。													○			
31	都市局	都市総務課	さいたま市スマートシティ推進事業	公民学連携によりビッグデータやAI、IoT等の先進技術を活用した事業に取り組み、市民サービスの向上と持続可能なまちづくりの実現を図る。	R2	・さいたま市スマートシティ推進コンソーシアムの会員（令和2年度に入会）として、大宮・さいたま新都心プロジェクト会議に参画・シェア型マルチモビリティの実証実験等に関する技術的助言	学識経験者にコンソーシアム会員として、専門的な視点での助言や講評を頂くことで、当該事業を円滑に推進し、市民サービスの向上に寄与した。	-	引き続きプロジェクト会議等への参加を依頼し、スマートシティの取組に関する実証実験や結果検証に関する助言を頂く。	○				○									○	東京大学	芝浦工業大学はオブザーバーとして参画

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
32	都市局	都市総務課	復興イメージトレーニング	大規模災害後の都市復興を考慮することで、災害に対する対応能力向上やノウハウの蓄積を図るトレーニングであり、防災都市づくり計画において「復興」の施策として位置付けている。事業実施に際しては、市民・事業者・行政の3者が協働で実施している。	H25	トレーニング開発者の芝浦工業大学の中村仁先生にトレーニング全体の監修や講師を依頼するとともに、トレーニングへの学生の参加を依頼した。	-	-	講師である芝浦工業大学の中村仁先生と連携を図りながら、次年度以降のトレーニングの内容や展開について検討する。					○											令和4年3月11日に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止
33	都市局	都市総務課	都市局まちづくり広報紙 korekaraの配布	さいたまの「まち」の魅力をさまざまな切り口で紹介し、「ともに考え、動き、つくる。まちのこれから。」をキャッチフレーズに、まちづくりの「本当のおもしろさ」を感じる情報を発信する。	R2	各大学宛て50部送付し、学内周知を依頼した。	学生を中心に本市まちづくりに関する知見を高める契機としていただくとともに広報能力の強化を見込む	https://www.city.saitama.jp/001/010/011/index.html	未定	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○				
34	都市局	自転車まちづくり推進課	シェア型マルチモビリティ等の実証実験	新たな都市交通システムとしてのシェアサイクルの普及について、民間事業者と連携して実施することの有効性、課題を検証する。	R1	実証実験に産学官連携として参画し、大学敷地内にシェアサイクルポートを設置するとともに、大学院授業（システム工学特別演習、クロスイノベーションプロジェクト）において、シェアサイクルに関する技術提案などを行った。	学校施設へのシェアサイクルポートの設置に関する有効性や課題などの検証を行うための環境を整えることができた。また、学生による技術提案を通して、シェアサイクルの利便性向上への参考となった。	-	シェア型マルチモビリティ等の実証実験として令和6年度末まで実証実験を実施するため、来年度も継続する予定。					○											
35	都市局	浦和東部まちづくり事務所	みその都市デザインスタジオ	美園地区を対象とし、大学生・大学院生が地域の課題解決等に向け、都市デザインの実践的演習を行う。また市民・企業・大学・行政等のコミュニケーション機会の創出を通じて、まちづくりへの関心を高めることを目的とする。	H27	①2021春（芝浦工業大学） テーマ：『(仮称)美園スタジアムタウンビジョン2050』の理念を実現する保留地活用計画 ②2021冬（埼玉大学） テーマ：美園の特性を生かして《ウェルビーイング》を実現する都市デザイン	市民・企業・大学・行政等が同じテーブルで議論し、固定概念に捉われない学生の新たな視点や考え方を共有し、まちづくりに対する発想の転換が図られる。	https://www.misono-tm.org/udcmi/projects/67.html	今後も引き続き、美園地区のまちづくりに関する多様な議論を繰り広げ、市民・企業・大学・行政等の関心を高めていく。	○				○											

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
36	都市局	浦和東部まちづくり事務所	国土交通省スマートシティモデル事業	スマートシティ実行計画の作成・推進と実証実験	R2	計画内容や実証実験内容へのアドバイス	大学の知見を取り入れられる。	-	引き続き連携を図る。	○															
37	都市局	大宮駅東口まちづくり事務所	大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業	産官学民のネットワーク構築を目的として、アーバンデザインセンター大宮（UDCO）が各団体等をつなぐプラットフォームとして機能し、まちづくり活動の支援、地域の情報収集、意見交換を行う。	H29	芝浦工業大学の鈴木俊治研究室と共に、おみややストリートテラスでの協働や、大宮らしい景観づくりのために意見交換を行った。	大宮駅周辺地域のまちづくりやUDCOについて学生の関心を高めたと同時に、海外事例や学生提案など、固定概念に捉われない新たな視点を共有した。	-	今後も大宮駅周辺地域のまちづくりに関する議論を行い、産官学民連携のプラットフォームであるUDCOの必要性を周知していく。					○											
38	桜区役所	くらし応援室	「自転車安全利用の日」キャンペーン	自転車を安全に利用していただくことを目的とした大学構内での啓発品の配布	不明	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	自転車に乗る機会の多い大学生に、自転車の正しい乗り方について周知する。	-	来年度以降も継続して実施する予定。	○															
39	桜区役所	くらし応援室	埼玉大学への交通安全啓発品提供	全国交通安全運動（春・秋）と交通事故防止運動（夏・冬）に合わせた啓発品の提供	不明	啓発品を年3回提供（9月、12月、1月、3月（予定）各100セット）	反射材の活用や正しい交通ルールについて改めて周知することができた。	-	来年度以降も継続して実施する予定。	○															
40	桜区役所	総務課	明るい選挙啓発ポスター「絵画教室」	夏休みの小学生を対象とした「絵画教室」を開催する。	H30	令和3年8月に開催し、埼玉大学の学生2名を講師に迎え、参加者に実技指導を行った。	美術の教員を目指す学生にとって、指導の経験を積むことができた。また、若い世代（講師、保護者、小学生）へ向けた選挙啓発、小学生の応募作品の増加につながった。	https://www.city.saitama.jp/sakura/001/002/006/p083332.html	継続して実施する予定。	○														区内公民館との連携事業	

市と大学との連携事業(令和3年度)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考		
41	桜区役所	保健センター	外国人留学生の母子保健に関する連携	埼玉大学の外国人留学生等が妊娠・出産の相談で保健センターを訪れることが多いため、大学の留学生相談担当部署と情報交換を行い、今後の留学生等の妊産婦支援に活かしていく。	R2	11月4日、国際室から、留学生の入国・帰国状況、留学生相談室及び支援状況等のヒアリングを実施。保健センターから外国人留学生等の妊娠・出産に関する支援の状況について情報提供。併せて、新型コロナウイルスワクチン等についての情報提供及び学生への勧奨を依頼。	国際室と保健センターとで情報交換を行うことで、今後の留学生等の妊産婦支援に活かせるものとなった。対応困難な場合の相談先として留学生相談室と連携できる旨を確認。	-	継続して実施する予定。	○																
42	緑区役所	コミュニティ課	区民フォーラムみどり	緑区の広聴機能のひとつとして、意見の交換を通じて各々が新たな気づきを得るとともに、それらの知見を区の行政の参考とすることを目的に、意見交換及び交流の場として区民フォーラムみどりを実施する。	R1	浦和大学の学生1名が参加した。	若い世代と意見交換することができた。	https://www.city.saitama.jp/midori/001/002/004/p085741.html	継続して実施する予定。			○														
43	緑区役所	コミュニティ課	緑区内見沼田んぼ桜回廊のドローン撮影	令和4年度に制作する区のPR動画等に活用するため、見沼田んぼの桜回廊をドローンで撮影する。	R3	目白大学の学生に桜回廊をドローンで撮影してもらった。(2月～3月に実施予定)	大学の専門的な人材と機器の活用による効果的な広報、及び、大学の実践的な教育機会の確保	-	具体的な方向性は未定だが、区の情報発信を強化するため、引き続き連携していきたい。											○						

市と大学との連携事業(令和3年度)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考
44	岩槻区役所	コミュニティ課	目白大学さいたま岩槻キャンパス春学期講義「地域社会で生きる」	生活様式の都市化、家族制度の変革、個人の価値観の多様化などを背景に地域のつながりは薄れてきたといわれる。地域の将来を考えるためには、歴史と現状を知り、生の声を聞き、そこから見えてくる課題と解決のヒントを探る必要がある、本講座では、目白大学さいたま岩槻キャンパスがある岩槻について様々な角度から学ぶことを通し、地域社会のあり様について考えること、地域の一員としてのあり方について理解を深めることを目指す。	H30	コロナ禍のため令和3年度は令和2年度に続き、Zoomを使用した講義収録(目白大学さいたま岩槻キャンパス櫻井講師研究室)で対応。収録日令和3年4月13日(火)	本講義を行うことにより、区と大学との信頼関係が醸成出来たことから、目白大学さいたま岩槻キャンパスと岩槻区で平成30年5月1日会則に基づく地域連携推進会議を設置した。大学と区との定期的な意見交換や連携事業を検討協議する組織とした。会議を通じて区で実施する事業への学生の参加が得られ、少しずつではあるが協働を進めて行くことが出来た。	-	今後も継続して行う。												○			
45	岩槻区役所	コミュニティ課	岩槻タウンカフェ	岩槻区の魅力あるまちづくりや課題解決について、行政に対する要望に偏らない、地域が自主的かつ主体的に実践できるようにアイデアを出し合う意見交換の場として開催した。	R1	令和3年11月21日(日)区役所会議室において目白大学、人間総合科学大学、東武医学技術専門学校教員及び岩槻高等学校教員と学生・生徒20名で「岩槻区の特徴と課題」をテーマに意見交換を実施。	若い世代の岩槻区への期待と要望が多く出され今後の岩槻区の行政運営の参考となったほか、参加した学生・生徒の皆さんも岩槻区に対する理解を深めることが出来た。参加者アンケート集計結果では100%の満足度が得られている。	さいたま市／岩槻区イベントレポート(令和3年11月)(city.saitama.jp)	岩槻タウンカフェは参加者自らが公助に頼らない自助や共助のまちづくりのアイデアを出していただく広聴事業であり、今後も若い世代をターゲットに開催していきたい。												○		東武医学技術専門学校	

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大 学	埼玉県 立大 学	浦和 大 学	慶應義 塾大 学	芝浦工 業大 学	聖学院 大 学	日本大 学	日本赤 十字 看護 大 学	人間総 合科学 大 学	放送大 学	目白大 学	国際学院 埼玉短期 大 学	その他	大学名	備考			
46	岩槻区役所	コミュニ ティ課	さいたま市誕生 20周年記念 「フラワー ウォール」事業	区民と行政が協働して花で装飾したモニュメント「フラワーウォール」を設置することにより、協力いただく区民と協働で花苗を育て、大きくなった花苗を使ったウォールを多くの方に見ていただき、さいたま市誕生20周年をPRするとともに、祝祭感を共有することを目的として実施した。	R3	公募による市民や市民活動ネットワーク登録団体のほかに目白大学さいたま岩槻キャンパス、人間総合科学大学岩槻キャンパス、岩槻高等学校にも協力いただき、さいたま市20周年の祝祭感を共有することが出来た。	さいたま市／岩槻区イベントレポート（令和3年11月） (city.saitama.jp)	単年度事業										○		○							
47	岩槻区役所	高齢介護課	岩槻区地域支え 合い推進員連絡 会	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進及びその提供体制の構築に向けての諸課題等について話し合う。	H29	連絡会への大学教員参加。	専門的な視点（作業療法学科）からの助言と、大学教員が研究している自立高齢者への介護予防・健康増進プログラムを区民に実施。	-	継続																		
48	岩槻区役所	高齢介護課	岩槻区地域包括 支援センター連 絡会	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの運営及び地域における関係機関との連携体制の構築や地域資源開発に関する諸課題等について話し合う。	H30	連絡会へ大学教員の委員参加。	連絡会への参加により、大学教員と高齢者福祉事業関係者や地域コミュニティ団体関係者との交流及び専門的な視点（作業療法学科）からの助言。	-	継続																		
49	教育委員会事務局	指導1課	大学生による学 習支援ボラン ティア事業	市立小・中・中等教育・特別支援学校等に大学生による学習支援ボランティア（アシスタントティーチャー）を配置し、児童生徒にきめ細かい個別指導、支援等を行う。	H16	アシスタントティーチャー学生募集の説明会の実施、ポスター、リーフレットの配付を行った。また、配置を希望する117校に、のべ249名の学生を配置した（令和4年2月3日現在）。	児童生徒へのきめ細かい個別指導や支援の充実が図られた。	https://www.city.saitama.jp/003/002/008/005/p02154_0.html	児童生徒へのきめ細かい個別指導や、大学生の教員となるための意欲、資質の向上のために、アシスタントティーチャーの活動について広報活動を行い、学生を確保する予定。	○		○												共栄大 学 文教大 学 東京家 政大 学	協定を締結している大学と、今年度事業の説明会を行った大学を連携先としている。新型コロナウイルス感染拡大防止により説明会を中止とした大学も実績に含んでいる。		

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大 学	埼玉県 立大 学	浦和 大 学	慶應義 塾大 学	芝浦工 業大 学	聖学院 大 学	日本大 学	日本赤 十字 看護 大 学	人間総 合科学 大 学	放送大 学	目白大 学	国際学院 埼玉短期 大 学	その他	大学名	備考	
50	教育委員会事務局	特別支援教育室	さいたま市教育委員会免許法認定講習（特別支援教育）	指導大学は、埼玉大学である。特別支援学校教諭二種免許状の取得に必要な単位を修得するために必要な講座を開設し、単位の取得機会を提供するとともに、特別支援教育に関する教員の専門性の向上を図る。	H29 但し、 H26 から2 8は、 埼玉大 学とさ いたま 市教育 委員会 の共催 で実施。	78名が受講した。	特別支援教育に係る教員の専門性の向上と特別支援学校教諭二種免許状の取得の機会を提供できた。	-	今後も本事業を継続していく予定。	○	○											○	東洋大学、文京学院大学、川口短期大学		
51	教育委員会事務局	総合教育相談室	教育支援センター運営事業	市内6か所の教育相談室に併設されている教育支援センターで学生ボランティアの受け入れを行う。また、教育相談臨床実習生の受け入れを行う。	H22	市内6か所の教育相談室に併設されている教育支援センターで学生ボランティアの受け入れについては、新型コロナウイルスの影響から、学生ボランティアの申し込みがなかった。教員や心理職を目指す大学生及び大学院生の教育相談臨床実習生については、11名を受け入れた。	学生ボランティアが学習支援や体験活動、コミュニケーション活動を通して通室生にかかわることで、安定した通室や登校への意欲づけにもつながる。また、教員や心理職を目指す大学院生及び大学院生を教育相談臨床実習生として受け入れることにより、臨床経験を深めることができる。	-	今後も、学生ボランティア及び、教育相談臨床実習生の受け入れを引き続き行っていく。													○	○	東京家政大学、駒沢女子大学、国際医療福祉大学	
52	教育委員会事務局	高校教育課	スーパーサイエンスハイスクール事業	世界の最先端技術や研究に触れさせ、幅広い進路選択、高度な科学技術分野で活躍する人材育成のため、大宮北高等学校の理数科及び普通科の希望する生徒を対象にした、大学の教授による「大学基礎講座」を実施する。	H28	埼玉大学、芝浦工業大学、東洋大学の教授による「大学基礎講座」を実施した。生徒は、様々な分野の専門家であり、研究者である大学の先生から課題研究に必要な基礎知識や実験方法についてアドバイスを受けることができた。	生徒の更なる最先端科学への関心、意欲の向上及び英語のプレゼンテーション能力の向上が図ることができている。また、学んだ内容を基に地域の小中学生へのアウトリーチ活動を実践したことで、小中高大をつなぐ理数教育の拠点校として役割を果たすことができている。	-	今後も本事業を継続していく予定。	○				○									○	横浜市立大学、早稲田大学、東洋大学、東京農工大学、薬科大学	

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考		
53	教育委員会事務局	高校教育課	東京学芸大学とさいたま市教育委員会との連携協力	<ul style="list-style-type: none"> 東京学芸大学は、国際バカロレア（IB）教員養成特別プログラムを受講する大学院生をさいたま市立大宮国際中等教育学校へ研修派遣する。 東京学芸大学は、さいたま市立大宮国際中等教育学校の教職員のIB教育に関する研修等に協力をする。 さいたま市立大宮国際中等教育学校のIB教員として、研修生が採用される制度を相互の連携により検討する。 	R1	全国のIB校等から集った東京学芸大学教職大学院生の実習を、大宮国際中等教育学校で受け入れた。	東京学芸大学はもとより、全国のIB校等との連携が深まる。	-	東京学芸大学教職大学院の実習校として実績を積みとともに、大宮国際中等教育学校の教員を東京学芸大学教職大学院へ派遣し研修を受けさせる。															○	東京学芸大学	
54	教育委員会事務局	高校教育課	学校フィールド・スタディ	埼玉大学教育学部の学生による、学校現場における見学及び補助を受け入れる。（受け入れが可能な市立高等学校）	H21	2名の学生を受け入れた。	教員を目指す学生が、学校現場における実際の活動について理解を深め、教員として働くために必要な資質・能力を養うことができた。	-	継続して実施する予定。	○																所管は指導1課であり、高校の希望者があつた場合のみ受け入れている。
55	教育委員会事務局	高校教育課指導1課 スポーツ政策室	スポーツを科学する生徒の育成事業	さいたま市の運動部活動やスポーツを題材とした授業において、DXの視点から生徒が主体的に考え取り組む「スマート部活動」を推進するとともに、スポーツを探究的に学び、実社会で新しい価値を生み出す力を育成し、さいたまSTEAMS教育へ活用する。	R2	スポーツにDXを活用した取組を実施した児童生徒のコンピテンシーの分析をもとに、スポーツや運動部活動の新たな指導法についての指導・助言を受けた。	産学官連携により、専門的な知見を活かし、中長期的に蓄積されたデータを適切に活用しながら、本市の児童生徒の実態に即した指導法モデルを適切に作成することができる。	-	実証実験を継続しながら新たな指導方法を確立し、スマート部活動さいたまモデルを作成する。また、「STEAMS TIME」の授業モデルを作成し、さいたまSTEAMS教育との連携を図る。													○	早稲田大学、筑波大学			

市と大学との連携事業(令和3年度)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
56	教育委員会事務局	健康教育課	学校フィールド・スタディ	埼玉大学教育学部養護教諭養成課程の学生による、学校現場における健康診断や日常の養護実践、学校保健委員会等の保健組織活動についての見学及び補助を受け入れる。(受け入れが可能な中央区の小・中学校)	H21	中央区・桜区の小学校5校、中学校2校において、7名の学生を受け入れた。	養護教諭を目指す学生が、学校現場における健康診断や日常の養護実践、学校保健委員会等の保健組織活動について理解を深め、将来に向けた養護教諭としての実践力を養うことができた。	-	継続して実施する予定。	○															
57	教育委員会事務局	教育研究所	研修事業・教職員研修	「『未来を拓くさいたま教育』を支える教職員研修の充実」を基本方針に、「さいたま市教員等資質向上指標」を踏まえ、教職員のキャリアアップに資する研修会の一層の充実に努める。	H14	前橋工科大学をはじめとする大学の教員7名を研修会の講師として招聘した。	大学教授等による最新の理論や指導方法等を提供することで、受講者の指導力の向上に役立てることができた。	http://www.saitama-city.ed.jp/01kensyu/020ichiran.html	継続して実施する予定。							○						○	科大、東京成徳大学、上野学園大学、東京造形大学、共栄大学、埼玉大学教職大学院	集合研修だけでなく、動画研修(2講座)も行った。	
58	教育委員会事務局	教育研究所	研修事業・「教師力」パワーアップ講座	平日の夜間に開催する教員の自主的・自発的な研修会。若手教員や教職を目指す学生をはじめとする市内の教職員などを対象に、「教師力」のさらなる向上、とりわけ授業力の向上を図る。	H17	・講座の予定一覧をアサナメールを使い、登録者に送付し、周知した。 ・東京学芸大学の教授を講師として招聘した講座を1講座行った。	令和4年1月17日時点で延べ、228名の学生の参加があった。 現職教員との関わり合いの中で、自身の教育観を磨いていた。	http://www.saitama-city.ed.jp/90power/050power.html	継続して実施する予定。	○		○		○	○	○							○	文教大学、共栄大学、十文字学園女子大学、千葉大学、宇都宮大学、東京学芸大学	新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて、令和3年10月15日～令和4年1月17日の期間のみ開催した。2月14日以降再開するか検討中である。
59	教育委員会事務局	教育研究所	研修事業・さいたま市教師塾「夢」講座	「さいたま市が求める教師像」に示されている資質を確実に身に付け、教職への意欲と使命感に燃えるさいたま市の教員を大学生期から養成する。	H30	受講生募集のリーフレットの配布等を行った。	令和3年度の「夢」講座受講生は、70名となった。さいたま市の教育についての理解を深め、さいたま市の教員になることの意欲をさらに高めることができた。	http://www.saitama-city.ed.jp/01kensyu/080asunaro.html#yumekouza	継続して実施する予定。	○		○		○	○								○	文教大学、共栄大学、十文字学園女子大学、宇都宮大学、東京学芸大学、筑波大学、他	説明会は埼玉大学で行った。近隣の大学にはリーフレットの配布のみ行った。

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考		
60	教育委員会事務局	館岩少年自然の家	「自然に学ぶ夏の学校」むし・ほし・いしOnline	中学校2年生を対象に「むし（昆虫採集）」「ほし（星空観察）」「いし（鉱物観察）」を中心とした自然体験活動を通して、五感を働かせて楽しく学ぶことを目的とする。スローガンは「未来の科学者を目指そう」	H28	令和2年度に引き続き、OnlineやVODを活用し、大学の講義室、現地配信、現地映像で擬似自然体験を行い、開催できた。	最先端の研究を行う、大学教授、准教授、講師、大学生が自然体験活動を実施することでその専門性が高まり、生徒が貴重な経験をすることができる。	開催3週間前から開催後1週間の限定的なHPを作成	引き続き、大学との連携を図っていく。実施の方法については要検討していく。														○	東京大学		
61	教育委員会事務局	生涯学習振興課	チャレンジスクール推進事業	土曜日や放課後等に学校の教室等を活用して、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の多様な活動を実施する。	H19	大学へボランティア募集のチラシを配布し、事業の周知及び学生へのボランティア募集を実施した。	大学生ボランティアの参加により、活動の充実につながっている。	https://www.city.saitama.jp/003/002/005/p008423.html	引き続き、学生に協力を依頼する予定。	○	○	○						○	○	○	○	○	○	共栄大学 文教大学	浦和大学は教育インターシップとして、大学1年生が市立小学校4校のチャレンジスクールに参加している。	
62	教育委員会事務局	生涯学習振興課	大学公開講座	市内の大学において、一般市民を対象とした公開講座を開催する。	H13	埼玉大学、聖学院大学、目白大学において公開講座を実施。（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、国際学院埼玉短期大学、浦和大学については中止）	生涯学習における市民の多様化・高度化するニーズに対応するものとなっている。	https://www.city.saitama.jp/003/003/002/p065926.html	継続して実施する予定。	○					○					○						
63	教育委員会事務局	文化財保護課	国指定史跡「見沼通船堀」鈴木家住宅調査・指導	国指定史跡「見沼通船堀」鈴木家住宅の建造物群の基礎情報を把握するため、学識経験者から必要な指導・助言を得る。	R2	国指定史跡「見沼通船堀」鈴木家住宅母屋の調査等を行い、指導・助言を得た。	指導・助言をもとに、鈴木家住宅の今後の適切な保存活用のあり方を検討する基礎資料を作成することができた。	-	継続して実施する予定。																	

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院 埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
64	教育委員会事務局	文化財保護課	「田島ヶ原サクラソウ自生地」植生管理指導	国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」の植生を適切に管理するため、学識経験者から必要な指導・助言を得る。	H27	田島ヶ原サクラソウ自生地の植生管理状況を把握するための現地調査等を行い、指導・助言を得た。	指導・助言をもとに、今後の適切な植生管理方法を検討することができた。	-	継続して実施する予定。	○															
65	教育委員会事務局	文化財保護課	ボランティア団体「田島ヶ原サクラソウ自生地を守る会」研修会	国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」の普及啓発活動を行っているボランティアの研鑽のため、講師を招き、研修会を開催する。	H27	田島ヶ原サクラソウ自生地の植生をテーマに、研修会を3月に開催する予定。	研修で得た知識を自生地の普及啓発活動に活かし、活動の一層の充実を図ることができた。	-	継続して実施する予定。	○															
66	教育委員会事務局	文化財保護課	「田島ヶ原サクラソウ自生地」自然科学分析指導	国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」のサクラソウ減少対策を講じるために、減少原因を把握することを目的とする調査において、学識経験者から必要な指導・助言を得る。	R1	田島ヶ原サクラソウ自生地の土壌分析等について、指導・助言を得た。	指導・助言をもとに、分析内容、手法、分析結果等の検討することができた。	-	継続して実施する予定。	○															
67	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	若田名誉館長杯ロボット大会	2人1組でチームを組み、キットをもとに製作したロボットで競技会を行う。	H24	大会のスタッフとして、運営・審査に携わった（准教授2名・学生5名）。	専門的な立場からロボットの審査や大会の講評を通して、参加者のロボット製作や競技への意欲を高める。	-	継続して実施する予定。	○															
68	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	若田宇宙飛行士アカデミーペースコース	「宇宙飛行士をめざして～若田宇宙飛行士に続け～」をテーマに、全5回の講義や体験、グループによる提案や発表を通して、楽しみながら宇宙に関する科学的な知識や協調性を身に付ける。	H30	第3回の講師として運営に携わった（名誉教授1名）。	専門性の高いハイブリッド・ロケットづくりや発射体験等を通して、受講者の宇宙開発に対する興味・関心が高まった。	-	継続して実施する予定。														○	埼玉工業大学	

市と大学との連携事業（令和3年度）

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考
69	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	若田宇宙飛行士アカデミーロボットコース コロボ・ロボット教室 「レゴブロックを使って宇宙エレベーターロボットを作ろう」	レゴロボットを使い、布を天井まで上っていくロボットの製作とミニ競技会を行う。	H23	講師として運営に携わった（准教授1名）。	宇宙開発について専門的な講義もあり、参加者のロボット製作への意欲や、宇宙への興味・関心を高めることができた。	-	継続して実施する予定。	○														
70	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	若田宇宙飛行士アカデミーロボットコース コロボ・ロボット教室 「スカベンジャーロボットを作ろう」	キットを使ったスカベンジャーロボットの製作と操作体験を行う。	H24	講師として運営に携わった（准教授1名、学生3名）。	ロボットの製作を通して、参加者にロボットが動く仕組みを理解させるとともに、ものづくりに対する興味・関心をはぐくむことができた。	-	継続して実施する予定。	○														
71	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	プログラミング教室 「メリンちゃんを動かそう」	プログラミングロボットを活用して、プログラミングの基礎を学ぶ。	R3	講師として運営に携わった（准教授1名）。	体験を通して、プログラミングの仕組みを学ぶことができ、プログラミングに対する理解を深めることができた。	-	継続して実施する予定。	○														
72	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	埼玉大学地学実験	埼玉大学の地学実験の一環として実施。科学館の施設見学やプラネタリウム学習、観望会などを行う。	H22	講師として運営に携わった（准教授1名、学生40名程度）。	プラネタリウムで四季の星座を星座早見と見比べながら学習したり、屋上で実際に天体を観測したりすることで、学生の天文分野における理解を深めることができた。	-	継続して実施する予定。	○														
73	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	高校生ロケット教室	3人1チームによる、モデルロケットの作成、打ち上げを行い、目標着地点に最も近いチームを競う。1日を通して、ロケットの仕組み、製作、試射、記録会までを行う。	R1	講師として運営に携わった（学生2名）。	専門家の指導のもと、製作したロケットを実際に打ち上げる体験等を通して、生徒にもものづくりの楽しさ、自分たちが作ったものがしっかり機能したときの喜びを味わうことができた。	-	継続して実施する予定。														○ 千葉工業大学	

市と大学との連携事業(令和3年度)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	鹿嶋大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
74	教育委員会事務局	青少年宇宙科学館	「宇宙のまちさいたま」フォーラム	ばねを利用した「ミニカー」を製作するワークショップの開催	R2	講師として運営に携わった(教授1名、学生2名)	身近にあるばねを利用した「ミニカー」の製作を通して、来館者が夢中で取り組む姿や、親子で仕組みを考え会話しながら製作している姿が見られ、宇宙が科学技術に対する興味関心が高まった。	-	継続して実施する予定。														○	ものつくり大学	
75	教育委員会事務局	うらわ美術館	創作コーナーボランティア	夏の企画展の関連事業として行っている自由工作室「創作コーナー」における制作補助等のボランティア活動。	H28	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、創作コーナーを人数・時間等を制限した中での内容としたため、ボランティアの募集は実施せず。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、創作コーナーを人数・時間等を制限した中での内容としたため、ボランティアの募集は実施せず。	https://www.city.saitama.jp/urawa-art-museum/educational/	継続して実施する予定。	○															
76	教育委員会事務局	生涯学習総合センター	さいたま市民大学事業	市民の方々の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるとともに、自発的な学習活動を促し、豊かな生涯学習社会を築くことを目的として、さいたま市民大学を開設する。	H14	市民大学を効果的に運営するための委員会において、将来構想に関することや、各講座の企画及び運営に関することについて、協議いただいた。また、さいたま市民大学各コースについて、講師に大学教授、准教授等を招き講演を行った。	市民の方々の高度で専門的な学習要求に応じることができた。	https://www.city.saitama.jp/006/008/002/012/004/017/p066394.html	継続して実施する予定	○									○						
77	教育委員会事務局	資料サービス課	インターンシップ	大学において図書館司書課程を履修中の学生に対し、図書館業務の実習を行う。	旧市の時から継続して受け入れ	期間：8月16日(月)～8月27日(金) 人数：4名	図書館の運営や公共サービスについての理解を深めてもらえた。	-	引き続き要望があれば受け入れ対応をする。														○	白百合女子大学 立教大学 筑波大学	
78	教育委員会事務局	資料サービス課	資料の相互利用	「埼玉大学図書館及び埼玉県立大学情報センターと埼玉県内市町村立図書館等との資料相互貸借に関する協定」に基づく資料の相互利用。	旧市の時から継続	借出175点 貸出38点	図書館の所蔵資料は館種によって異なるため、市図書館の利用者には大学の高度で専門的な資料を提供できるとともに、大学図書館利用者にも幅広い資料の提供が可能になる。	-	市民の研究や学習に資するため、さらに連携を深めていく。	○	○														

市と大学との連携事業(令和3年度)

No	局区等	課等	事業名	事業内容	連携開始時期	令和3年度実績	連携の効果	関連HP	今後の方向性	埼玉大学	埼玉県立大学	浦和大学	慶應義塾大学	芝浦工業大学	聖学院大学	日本大学	日本赤十字看護大学	人間総合科学大学	放送大学	目白大学	国際学院埼玉短期大学	その他	大学名	備考	
79	教育委員会事務局	桜図書館	埼玉大学生による「食育おはなし会」	絵本の読み聞かせや紹介を交えながら、埼玉大学生が食べものや食べることについて解説する。	H27	8月23日に「野菜」をテーマに実施した。	大学の専門性を生かしたおはなし会が実施できた。	-	継続して実施する予定	○															
80	教育委員会事務局	管理課(大宮図書館)	インターンシップ	大学において図書館司書課程を履修中の学生に対し、図書館業務の実習を行う。	R1	実践女子大学 期間：8月2日(月)～8月16日(月) 人数：1名	図書館の運営や公共サービスについての理解を深めてもらえた。	-	令和4年度以降の受け入れについては未定。													○	実践女子大学		